

南予部会のクロニクル

あの頃、南予部会で何撮ってた？

○菊池健司¹⁾

¹⁾喜多医師会病院 放射線室

【背景】

愛媛県診療放射線技師会南予部会は、地域医療を支える技師間の研鑽と交流を目的として活動を続けてきた。本報告では、南予部会の創立から現在に至るまでの歩みを振り返り、研修会や勉強会の変遷を調査した。その過程で、先人が学術活動のみならず、親睦を深めるための様々な行事を通じて地域の技師間の絆を築いていた事が明らかになった。本報告では、これまでの南予部会の活動の軌跡を「クロニクル」としてまとめ、その意義を再確認した。

【目的】

南予部会の歴史を振り返り、活動の変化とその意義を再確認する。

【方法】

県技師会への聞き取り調査、技師会ホームページ及び機関紙「愛媛放射線」を調査した。これらの聞き取り及び資料調査から、南予部会の創立年、研修会や演題発表の内容、親睦会などの活動状況を確認した。(Fig.1-5)

【結果】

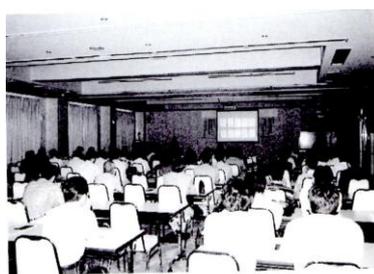
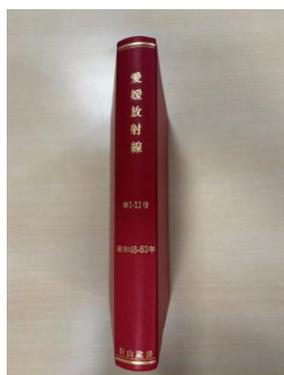
南予部会は1972年に創立されたことが明らかになった。(私の誕生年でもあった。)また、1986年に町立宇和病院主催で開催された学術研修会が、南予地区で初めての研修会であった。

【結語】

コロナ禍を経て、研修や交流の形は様変わりしたが、「つながり」と「学び合い」という原点は変わらない。これからも互いに学び合い、支え合いながら活動を続けていきたい。

【参考文献】

「愛媛放射線」. 公益社団法人 愛媛県診療放射線技師会. (株)明朗社



研修会場

Fig.2 研修会風景



Fig.3 懇親会風景



Fig.1 機関紙「愛媛放射線」



Fig.4 ソフトボール大会



南予放射線技師会 第1回釣り大会 平成元年3月26日 (後五等画)

Fig.5 磯釣り大会